

## 授業科目 教育方法・技術

|         |      |    |       |          |
|---------|------|----|-------|----------|
| 【担当教員名】 | 対象学年 | 2  | 対象学科  | 健康・スポ・看護 |
|         | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択       |
|         | 単位数  | 2  | 時間数   | 30       |

【概要・一般目標：GI0】  
 教育の技術には明示的で誰もが利用できる技術と、誰もが利用できるわけではなくその人が使うから効果がある「属人的技術」があると言われる。本講義では、前半は現職教員や実践的研究者が作成したテキストを利用して前者の「誰もが使える、明示的に伝達可能な技術」について検討する。後半では、NHK放送教育番組「わくわく授業～私の教え方」の分析と教育技術の抽出によって、教育技術の本質とも言える「属人的技術」とそれを支える「暗黙知」へのアプローチを試みる。H16調査によれば我が国の本務教員数は小学校は38万人、中学校では24万人。その全ての教室で、一つとして同じ授業はない。授業とはいかに創造的な仕事であることか。教科教育の専門的教育技術を支える教育学的な教養として、教育技術とは何かを、教師を目指す諸君と共に考えてみたい。

【学習目標】  
 1. 授業設計、学習の組織化、授業の展開に関わる基本的な技術について説明できる。  
 2. 各教科における具体的な授業展開における教育技術の特徴と、授業評価について説明できる。  
 3. 優れた授業の映像から、1,2に示す一般的な授業の技術を抽出できる。  
 4. 優れた授業と教師の関係を考察し、その教師が駆使している授業技術を検討する。  
 5. 授業を設計し、指導を経験する。

| 回数 | 授業計画・学習の主題                           | SB0番号   | 学習方法・学習課題<br>備考・担当教員 |
|----|--------------------------------------|---------|----------------------|
| 1  | オリエンテーション：教育における技術とは何か               | 1, 5    | 講義                   |
| 2  | 教育技術の理論とその発展                         | 1, 5    | 講義                   |
| 3  | 授業の設計と教育技術                           | 2, 5    | 講義                   |
| 4  | 学習指導の組織化と展開                          | 1, 5    | 講義                   |
| 5  | 各教科における授業展開                          | 2, 5    | 講義                   |
| 6  | 授業の評価と教師の意思決定                        | 2, 5    | 講義                   |
| 7  | 教師の力量向上：アクションリサーチと属人的技術              | 1-5     | 講義                   |
| 8  | NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（全体Ⅰ）   | 3, 4, 5 | 講義，グループ討議            |
| 9  | NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（全体Ⅱ）   | 3, 4, 5 | 講義，グループ討議            |
| 10 | NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（グループⅠ） | 3, 4, 5 | 講義，グループ討議            |
| 11 | NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（グループⅡ） | 3, 4, 5 | 講義，グループ討議            |
| 12 | NHKわくわく授業～わたしの教え方を活用した教育技術の抽出（グループⅢ） | 3, 4, 5 | 講義，グループ討議            |
| 13 | 指導案作成とマイクロティーチング                     | 3, 4, 5 | グループワーク              |
| 14 | 指導案作成とマイクロティーチング                     | 3, 4, 5 | グループワーク              |
| 15 | まとめ                                  | 1-5     | まとめ                  |

| 【使用図書】            | <書名>         | <著者名>    | <発行所> | <発行年・価格 他> |
|-------------------|--------------|----------|-------|------------|
| 教科書<br>(必ず購入する書籍) |              |          |       |            |
| 参考書               | 子供と向き合う授業づくり | 生田 孝至（編） | 図書文化  | 1,800円     |
| その他の資料            |              |          |       |            |

|                                              |                                               |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 【評価方法】<br>出席、ワークシート、プレゼン、指導案と模擬授業から総合的に判断する。 | 【履修上の留意点】<br>必要に応じてLANケーブルおよびPCを持参するように指示します。 |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------|